

資料編

- (1) 職員名簿
- (2) センター利用者数(展示館入館者数、環境学習講座・イベント等参加者を含む)
- (3) 年度別利用者の内訳
- (4) デジタル地球儀「触れる地球」入室者数
- (5) 情報アクセス数(ホームページアクセス数)
- (6) フェイスブックページ投稿リーチ数
- (7) センター報掲載研究活動報告一覧
- (8) 平成30年度環境科学国際センター実績等の概要

(1) 職員名簿(平成30年4月1日現在)

所属／職名	氏 名	所属／職名	氏 名
総長(非常勤)	島 山 史 郎	○自然環境担当	
◎事務局		担当部長	三 輪 誠
事務局長	小 田 恵 美	担当部長	王 効 拳
○総務・学習・情報担当		専門研究員	米 倉 哲 志
担当部長	田 口 典 義	主任	角 田 裕 志
担当課長	宇 賀 陽 子	主任専門員	金 澤 光
担当課長	吉 野 明 子	○資源循環・廃棄物担当	
主任	那 須 眞 義	担当部長	長 森 正 尚
主任	牧 紀 水 子	主任研究員	川 寄 幹 生
専門員	岡 戸 昭 治	主任研究員	長 谷 隆 仁
専門員	卯ノ木 敬 二	専門研究員	磯 部 友 護
嘱託(非常勤)	宮 川 武 明	専門研究員	鈴 木 和 将
○研究所		○化学物質・環境放射能担当	
研究所長	村 上 正 吾	担当部長	茂 木 守
研究企画幹(兼)		担当部長	大 塚 宜 寿
副研究所長	半 田 順 春	主任研究員	蓑 毛 康 太 郎
○研究企画室		専門研究員	堀 井 勇 一
室長(兼)	高 橋 基 之	主任	竹 峰 秀 祐
環境部副参事		主任	野 村 篤 朗 夫
担当部長	桜 井 靖 彦	嘱託(非常勤)	伊 藤 武 夫
主任	横 塚 敏 之	○水環境担当	
主任	小 山 喜 子	担当部長	田 中 仁 志
○研究推進室		担当部長	木 持 謙
室長	白 石 英 孝	専門研究員	見 島 伊 織
副室長	渡 辺 洋 一	専門研究員	池 田 和 弘
副室長	松 本 利 恵	主任	渡 邊 圭 司
副室長	嶋 田 知 英	主任専門員	(兼)研究企画
○温暖化対策担当		室主任専門員	梅 沢 夏 実
担当部長	武 藤 洋 介	○土壌・地下水・地盤担当	
主任	原 政 之	担当部長	八 戸 昭 一
主任	本 城 慶 多	主任研究員	石 山 高 起
○大気環境担当		専門研究員	濱 元 栄 志
担当部長	米 持 真 一	専門研究員	柿 本 貴 志
主任研究員	佐 坂 公 規		
専門研究員	長 谷 川 就 一		
主任専門員	野 尻 喜 好		
技 師	藤 井 佑 介		

(平成30年9月30日退職)

(2) センター利用者数(展示館入館者数、環境学習講座・イベント等参加者を含む)

(単位:人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
12年度	18,599	5,775	5,320	5,381	6,625	4,048	6,770	7,202	1,768	1,477	2,773	2,828	68,566
13年度	3,570	5,655	4,862	3,999	6,021	3,752	5,790	5,022	1,675	1,568	2,582	2,476	46,972
14年度	2,754	4,452	4,469	3,024	6,681	3,992	6,067	5,902	1,838	1,555	2,616	2,556	45,906
15年度	2,571	4,483	4,125	4,270	5,854	4,330	6,772	7,709	2,478	1,774	2,252	1,598	48,216
16年度	2,746	5,367	4,319	4,325	5,062	4,280	5,128	4,784	3,426	2,225	2,374	2,378	46,414
17年度	2,379	4,969	5,487	3,699	5,634	4,485	5,285	4,911	2,542	2,064	1,747	2,429	45,631
18年度	2,555	5,408	4,099	3,663	5,315	4,566	5,079	5,770	3,884	2,403	2,916	3,772	49,430
19年度	3,202	7,515	5,065	4,135	4,839	4,881	7,122	7,746	2,399	2,593	1,656	2,122	53,275
20年度	2,808	8,116	4,394	4,464	4,441	5,060	6,040	7,431	2,133	1,951	1,862	2,622	51,322
21年度	2,131	5,411	4,482	3,236	3,201	3,899	4,562	4,873	2,883	1,837	1,771	1,505	39,791
22年度	1,641	7,522	4,033	3,394	3,548	3,459	5,451	5,896	2,374	1,775	1,513	802	41,408
23年度	1,887	4,405	3,650	3,616	5,110	3,388	5,372	7,008	2,635	2,738	1,434	1,365	42,608
24年度	3,126	4,458	3,294	2,912	6,036	4,456	4,782	7,620	2,148	1,833	1,857	1,558	44,080
25年度	3,324	4,344	4,659	2,737	6,377	2,655	5,031	8,388	2,959	2,371	1,477	1,995	46,317
26年度	3,001	5,302	5,461	3,826	5,096	3,741	3,791	6,627	2,367	2,912	2,274	1,898	46,296
27年度	3,467	5,042	5,013	3,473	4,612	4,105	4,440	6,463	2,215	2,126	2,537	2,017	45,510
28年度	2,796	4,947	3,985	3,291	5,835	4,100	3,845	6,124	2,721	2,354	2,162	3,163	45,323
29年度	2,959	4,437	3,794	3,310	5,856	3,410	5,078	8,894	4,683	1,917	2,515	3,187	50,040
30年度	4,194	6,247	5,270	3,316	7,094	2,874	5,621	8,223	2,752	1,808	3,121	2,821	53,341

(3) 年度別利用者の内訳

(単位:%)

年度	中学生以下(無料)	学生・生徒(高校生以上有料)	一般(有料)	※65歳以上(無料)	その他(無料)
12年度	52.8	1.0	36.3	9.9	—
13年度	58.7	0.7	28.3	12.3	—
14年度	62.5	0.8	20.4	16.3	—
15年度	64.0	0.6	16.6	18.8	—
16年度	64.2	0.6	15.9	19.3	—
17年度	64.6	0.7	14.4	20.3	—
18年度	61.7	0.5	12.1	25.7	—
19年度	62.4	0.6	10.6	26.4	—
20年度	63.3	1.2	10.7	24.8	—
21年度	63.2	0.7	10.6	25.5	—
22年度	60.2	0.4	8.7	30.7	—
23年度	57.5	0.4	8.0	34.1	—
24年度	55.7	0.3	8.7	35.3	—
25年度	54.7	0.3	8.5	7.9	28.6
26年度	54.5	0.8	7.9	—	36.8
27年度	53.5	0.2	8.7	—	37.6
28年度	50.6	0.2	8.9	—	40.3
29年度	49.8	0.1	7.7	—	42.4
30年度	48.9	0.2	8.4	—	42.5

※条例改正により65歳以上の方の展示館入場料無料については、平成25年6月で終了した。

(4) デジタル地球儀「触れる地球」入室者数

(単位:人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
27年度	—	—	—	825	1,407	2,751	2,280	2,028	974	786	1,013	336	12,400
28年度	485	1,199	1,755	975	1,676	2,489	1,794	1,368	1,497	589	529	348	14,704
29年度	719	1,323	1,362	938	1,721	1,906	1,991	1,456	1,432	688	419	445	14,400
30年度	753	1,446	2,051	1,032	2,088	1,389	1,508	1,734	993	585	840	976	15,395

(5) 情報アクセス数(ホームページアクセス数)

(単位:ページ)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
12年度	2,120	2,482	3,633	1,258	1,029	921	1,907	1,257	1,458	1,747	2,004	1,836	21,652
13年度	1,667	2,208	2,642	2,779	2,587	1,999	2,449	2,998	3,092	2,557	2,325	2,230	29,533
14年度	2,471	2,549	3,224	5,205	5,791	4,408	3,311	3,328	2,989	4,147	4,520	5,264	47,207
15年度	3,035	4,615	4,310	3,828	7,021	5,682	6,493	10,063	7,228	6,442	7,112	8,282	74,111
16年度	4,074	3,682	5,005	7,217	6,704	3,832	4,606	4,568	3,821	4,242	4,641	3,659	56,051
17年度	4,192	4,505	5,580	5,131	5,671	4,782	3,595	3,969	3,198	3,378	3,268	2,568	49,837
18年度	2,558	3,122	4,242	4,141	5,323	3,455	3,710	4,084	4,145	5,130	7,114	5,745	52,769
19年度	4,253	5,816	5,675	5,161	5,725	4,577	5,603	5,428	4,387	5,164	5,559	4,335	61,683
20年度	4,622	6,235	6,919	6,476	6,223	5,144	5,222	4,785	4,276	4,568	5,059	4,534	64,063
21年度	5,149	5,962	6,450	5,717	5,415	4,609	4,729	4,536	4,162	4,513	4,603	4,929	60,774
22年度	6,608	7,950	8,132	8,654	7,412	5,812	7,081	6,959	5,959	5,592	5,790	7,406	83,355
23年度	8,728	11,577	12,067	14,187	12,038	8,454	8,453	10,332	6,843	6,712	6,350	6,574	112,315
24年度	11,016	11,036	12,860	10,125	11,754	8,400	9,369	22,195	6,720	8004	7,330	8,916	127,725
25年度	14,531	13,861	13,268	12,892	13,130	9,277	9,777	12,831	6,616	10,233	8,383	9,336	134,135
26年度	14,289	16,570	21,925	16,837	14,702	9,259	10,979	18,011	7,233	6,711	6,156	5,986	148,648
27年度	15,633	12,642	15,296	16,929	12,571	8,344	11,151	17,398	7,809	7,752	7,592	8,139	141,246
28年度	13,531	13,618	12,403	17,072	14,432	10,160	9,587	15,107	6,639	7,209	6,625	6,400	132,783
29年度	11,981	11,956	13,434	15,550	13,721	9,214	8,945	20,054	6,188	9,822	9,455	10,689	141,009
30年度	14,396	14,574	19,157	23,269	21,576	16,156	9,732	15,843	7,403	8,435	9,722	10,685	170,948

(6) フェイスブックページ投稿リーチ数

(単位:人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
27年度	2,346	2,864	3,187	4,061	2,901	2,899	3,103	4,088	3,284	5,164	2,241	3,409	39,547
28年度	3,048	4,292	3,961	4,842	4,053	3,792	1,859	2,215	3,639	4,671	3,879	4,612	44,863
29年度	1,852	4,330	4,443	3,288	5,519	2,418	1,903	1,572	1,212	1,451	850	826	29,664
30年度	934	1,101	1,362	1,359	1,761	436	1,154	2,121	1,683	1,304	1,646	1,816	16,677

(7) センター報掲載研究活動報告一覧

第1号(平成12年度)

- 総合報告:有機塩素剤の環境残留状況……………昆野信也、斎藤茂雄、杉崎三男、倉田泰人、細野繁雄、渡辺洋一、高橋基之、長森正尚、唐牛聖文
……………昆野信也、斎藤茂雄、杉崎三男、倉田泰人、細野繁雄、渡辺洋一、高橋基之、長森正尚、唐牛聖文
研究報告: 騎西・鴻巣地域における秋から初冬のPM2.5汚染実態……………米持真一、梅沢夏実、松本利恵、武藤洋介
資 料: 日本における緑地の大気浄化機能とその経済的評価……………小川和雄、三輪誠、嶋田知英、小川進
資 料: ウィンクラ法と隔膜電極法の比較—一般廃棄物最終処分場浸出水等の溶存酸素測定において……………長谷隆仁

第2号(平成13年度)

- 総合報告:有機性廃棄物資源化の現状と技術……………河村清史
研究報告: 騎西・鴻巣地域における春から夏期を中心としたPM2.5汚染実態……………米持真一、梅沢夏実、松本利恵、武藤洋介
……………米持真一、梅沢夏実、松本利恵、武藤洋介
研究報告: 鴨川及びその流入水路の水における内分泌かく乱化学物質の濃度とそのエストロゲンリセプター結合能……………
……………茂木守、細野繁雄、野尻喜好
資 料: 生物多様性データベースの現状と埼玉県環境科学国際センターの取り組み……………嶋田知英、小川和雄、三輪誠、長田泰宣

第3号(平成14年度)

- 総合報告:ファイトレメディエーションによる汚染土壌修復……………王効挙、李法雲、岡崎正規、杉崎三男
研究報告: 埼玉県における二酸化炭素濃度の推移……………武藤洋介、梅沢夏実
研究報告: 埼玉県におけるダイオキシン類の大気降下挙動に関する研究……………王効挙、野尻喜好、細野繁雄
研究報告: 地域地震動特性解析に関する研究……………白石英孝
資 料: 不老川における下水処理水還流事業による水質変化と水圏生物相への影響……………
……………長田泰宣、鈴木章、伊田健司、斎藤茂雄、高橋基之、田中仁志、金主鉉、山川徹郎
資 料: キレート樹脂の吸着能の推算……………大塚宜寿、田島尚
資 料: 生物を利用した土壌中ダイオキシン類低減化の検討……………養毛康太郎、大塚宜寿、茂木守

第4号(平成15年度)

- 総合報告: 埼玉の大気環境……………昆野信也、竹内庸夫、梅沢夏実、松本利恵、武藤洋介、唐牛聖文、米持真一
総合報告: 埼玉県の大気環境……………昆野信也、竹内庸夫、梅沢夏実、松本利恵、武藤洋介、唐牛聖文、米持真一
……………杉崎三男、野尻喜好、細野繁雄、茂木守、王効挙、大塚宜寿、養毛康太郎
研究報告: 溜池におけるアオコの現況と毒素Microcystinの消長……………伊田健司、佐藤雄一、川瀬義矩
資 料: 廃棄物焼却炉から排出される化学物質の特性……………唐牛聖文、米持真一、竹内庸夫
資 料: 底質試料中ダイオキシン類の迅速抽出に関する検討……………細野繁雄、養毛康太郎、大塚宜寿
資 料: ダイオキシン類試料の調製における新規活性炭シリカゲルの適用性について……………
……………細野繁雄、大塚宜寿、養毛康太郎
資 料: 土壌・地下水汚染の調査解析手法の検討—様々な土地情報を利用した汚染発覚時初動調査手法—……………
……………高橋基之、長森正尚、野尻喜好、八戸昭一、佐坂公規、山川徹郎

第5号(平成16年度)

- 総合報告: 埼玉の水環境—公共用水域の水質を中心に—……………
……………長田泰宣、鈴木章、斎藤茂雄、高橋基之、田中仁志、金主鉉、木持謙、石山高
総合報告: 埼玉の自然環境……………小川和雄、金澤光、嶋田知英、三輪誠、米倉哲志、アマウリ・アルサテ
研究報告: 既存生態系を活用したバイオマニピュレーション手法による汚濁湖沼の水質改善に関する研究……………
……………田中仁志、金主鉉、鈴木章、星崎寛人、渡辺真利代、渡邊定元
研究報告: バイオレメディエーション技術の活用による難分解性有害化学物質汚染土壌の浄化に関する研究……………
……………王効挙、杉崎三男、細野繁雄
資 料: ヒ素の水環境中における存在形態とその挙動……………伊田健司、鈴木章、平野洋一、川瀬義矩
資 料: 模擬埋立地実験による埋立地早期安定化の検討……………川寄幹生、長森正尚、小野雄策
資 料: 模型地盤を用いた電気探査法の環境調査への適用方法に関する研究……………佐坂公規
重点研究の報告: 地質地盤環境の保全と土地の適正利用に関する研究……………
……………地質地盤・騒音担当、土壌・地下水汚染対策チーム
重点研究の報告: 地球環境及び地域自然生態系の保全に関する研究……………自然環境担当、大気環境担当、水環境担当

第6号(平成17年度)

- 総合報告: 埼玉の廃棄物管理と研究支援……………
……………長森正尚、川寄幹生、長谷隆仁、磯部友護、渡辺洋一、倉田泰人、小野雄策

総合報告:埼玉の地質地盤環境……………八戸昭一、高橋基之、石山高、佐坂公規、白石英孝、松岡達郎
資 料:県内河川水中の非イオン界面活性剤ノニルフェノールエトキシレート及びアルコールエトキシレート(C12AEs) ……斎藤茂雄、金主鉉、伊田健司、鈴木章
資 料:GC/NCI-MS法を用いた鴨川河川水、底質試料中のエストロゲンの分析……………野尻喜好、茂木守、細野繁雄
資 料:発生源低騒音化手法の開発……………白石英孝、上原律、戸井武司
重点研究の報告:廃棄物の燃焼や埋立等に伴う環境汚染とその対策に関する研究…廃棄物管理担当、大気環境担当
重点研究の報告:ダイオキシン類及び内分泌かく乱化学物質等有害化学物質に関する総合的研究……………
……………化学物質担当、廃棄物管理担当、大気環境担当、水環境担当

第7号(平成18年度)

総合報告:環境科学国際センター生態園における生物相の変遷……………嶋田知英、小川和雄、三輪誠、長田泰宣
資 料:野鳥へい死の原因調査における市販有機リン系農薬検出キットの適用性について……………
……………細野繁雄、茂木守、野尻喜好、杉崎三男

第8号(平成19年度)

総合報告:環境科学国際センターの国際貢献・交流活動……………河村清史
研究報告:埼玉県南部における都市河川底質中の有害汚染物質の特性……………斎藤茂雄、鈴木章、長田泰宣
資 料:行政の悪臭苦情対応における臭気測定的位置付け……………梅沢夏実
資 料:模擬埋立地実験による埋立地早期安定化の検討……………川寄幹生、長森正尚、小野雄策

第9号(平成20年度)

総合報告:微動探査法の実用化研究……………松岡達郎
資 料:臭素系難燃加工剤(ポリプロモジフェニルエーテル)による県内河川底質の汚染実態……………
……………細野繁雄、荻毛康太郎、大塚宜寿、茂木守、杉崎三男

第10号(平成21年度)

総合報告:里川再生テクノロジー事業の取組―「川の国埼玉」の実現に向けて―……………
……………高橋基之、田中仁志、木持謙、石山高、亀田豊、見島伊織、池田和弘、柿本貴志

第11号(平成22年度)

研究報告:連続稼働型デニューダ開発のための基礎的検討……………
……………米持真一、松本利恵、上田和範、名古屋俊士、小山博巳
資 料:埼玉県における県民参加を主体としたオゾンによるアサガオ被害調査……………
……………三輪誠、小川和雄、嶋田知英
資 料:武蔵野台地北部の湧水の水質特性……………高橋基之、田中仁志、石山高、八戸昭一、佐坂公規

第12号(平成23年度)

資 料:埼玉県におけるサギ類生息モデルの検討……………嶋田知英
資 料:堂平山観測所における二酸化炭素高濃度事例解析について……………武藤洋介
資 料:大気中のガス状および粒子状水溶性無機成分濃度の夏期調査……………松本利恵、米持真一、梅沢夏実
資 料:絶滅危惧魚類ムサシトミヨのミトコンドリアDNAマーカーの作製とその生息地への適用……………
……………三輪誠、金澤光

第13号(平成24年度)

資 料:温熱環境指標WBGTの簡易推計と埼玉県をモデルとした熱中症予防のための情報発信手法の検討……………
……………米倉哲志、松本利恵、嶋田知英、増富祐司、米持真一、竹内庸夫
資 料:元小山川の環境基準点における河川水中ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)濃度の推移……………
……………茂木守、野尻喜好、細野繁雄、杉崎三男
資 料:利根川水系ホルムアルデヒド水質事故における対応の記録……………
……………高橋基之、田中仁志、木持謙、見島伊織、柿本貴志、池田和弘、野尻喜好、茂木守、細野繁雄

第14号(平成25年度)

研究報告:ムサシトミヨ生息域における河川環境の調査と簡易・効率的な流入汚水対策技術の検討……………
……………木持謙、金澤光、高橋基之、王効拳、柿本貴志
資 料:見沼田圃における土地利用の変遷……………嶋田知英
資 料:新聞記事データベースに見る「地球温暖化」の定着……………嶋田知英
資 料:市民の温暖化適応策に関する意識調査……………嶋田知英
資 料:埼玉県に生息する魚類の生息状況について……………金澤光

資料:微動探査法における深度方向指向性に関する研究……………白石英孝

第15号(平成26年度)

研究報告:土壌中重金属類の溶出特性解析とそれに基づく土壌汚染の類型化……………石山高、八戸昭一、濱元栄起、白石英孝、細野繁雄、河村清史

資料:埼玉県における大気中p-ジクロロベンゼンの濃度特性……………竹内庸夫、佐坂公規、松本利恵

資料:廃棄物焼却炉から排出される揮発性有機化合物の挙動……………竹内庸夫

資料:埼玉県内の一般廃棄物焼却施設におけるごみ発電による温室効果ガス排出削減効果……………倉田泰人

資料:埼玉県の荒川及び新河岸川の感潮域で発見された特定外来生物イガイ科カワヒバリガイについて……………金澤光

資料:埼玉県に侵入した外来甲殻類ヌマエビ科カワリヌマエビ属の現状について……………金澤光

資料:埼玉県内流域における土地利用の状況……………柿本貴志

第16号(平成27年度)

総合報告:山西省水環境保全モデル事業による国際環境協力……………高橋基之、田中仁志、木持謙、見島伊織、池田和弘、柿本貴志、渡邊圭司、王効挙、木幡邦男

資料:植物を用いた土壌修復法の実用化に向けた研究の推進……………王効挙、米持真一、磯部友護、細野繁雄、三輪誠、米倉哲志、金澤光

資料:埼玉県におけるヤツメウナギ科スナヤツメの採集記録と生息環境……………金澤光

資料:フェノール類の酢酸エステル GC/MS測定における保持指標……………倉田泰人

資料:野通川における河川水中ネオニコチノイド系殺虫剤濃度の季節変動……………大塚宜寿、蓑毛康太郎、野尻喜好、茂木守、堀井勇一

資料:埼玉県内で見られた自然由来の河川景観悪化現象……………池田和弘、見島伊織、柿本貴志、高橋基之

第17号(平成28年度)

研究報告:工場内で利用可能なVOC局所対策手法の開発……………米持真一、梅沢夏実、佐坂公規、信太省吾、名古屋俊士、吉野正洋、曾根倫成、土屋徳子

資料:埼玉県へ1980年代前半に移入された侵略的外来種無脊椎動物リンゴガイ科スクミリンゴガイの現況について……………金澤光

第18号(平成29年度)

研究報告:生態園をモデルとした放射性物質の分布及び移行に関する研究……………山崎俊樹、伊藤武夫、茂木守、米持真一、三輪誠、梅沢夏実、嶋田知英、白石英孝、高瀬冴子、坂田脩、長島典夫、三宅定明

資料:埼玉県の荒川および中川の汽水域における集魚灯調査で確認された魚類の生態特性……………金澤光

資料:埼玉県内河川における藻類濃度の実態及び河床勾配との関係……………柿本貴志、池田和弘、見島伊織、渡邊圭司

第19号(平成30年度)

研究報告:埋立廃棄物の組成変化を考慮した最終処分場内部の安定化挙動に関する研究……………磯部友護、川寄幹生、長谷隆仁、鈴木和将

資料:埼玉県における絶滅危惧植物の分布と減少要因の解析……………三輪誠、嶋田知英

資料:太陽光発電パネル設置による蒸発量への影響についての研究 - 発電パネルを模擬した太陽光遮蔽設備による実験 - ……………長谷隆仁

(8) 平成30年度埼玉県環境科学国際センター実績等の概要

1 総論

- 所在地： 埼玉県加須市上種足914
 開設： 平成12年4月
 機能： 「環境科学の共有」を基本理念とし、以下の4つを基本的機能とする。
 (1)環境学習
 (2)環境に関する試験研究
 (3)環境面での国際貢献
 (4)環境情報の収集・発信
- 組織： 総長(非常勤1名)
 事務局(局長、総務・学習・情報担当:8名、非常勤1名)
 研究所(研究所長、研究企画幹、研究企画室、研究推進室:44名、非常勤1名)
- 予算： センター当初予算 264,695千円
 令達事業予算 117,491千円

2 環境学習

項目	実績	参照
(1)展示館等のセンター利用者	53,341名(前年度比6.6%増)	211頁
(2)彩の国環境大学	修了者数49人	5～6頁
(3)公開講座	36講座、参加者数延べ3,518人	6～7頁
(4)身近な環境観察局ネットワーク	「クビアカツヤカミキリ」説明会4地区 大気測定会5回	8頁
(5)研究施設公開	年3回、参加者数延べ1,198人	8頁
(6)その他の開催イベント	参加者数22,450人	8頁

3 環境情報の収集・発信

項目	実績	参照
(1)ホームページのアクセス	170,948件(前年度比21.2%増)	9頁、212頁
(2)ニューズレターの発行	年4回(39号～42号)	9～10頁
(3)センター講演会	参加者数326人	10～11頁
(4)マスコミ報道	新聞報道、広報誌51回 テレビ放映、ラジオ放送16回	11～18頁 19～20頁

4 国際貢献

項目	実績	参照
(1)世界に通用する研究者育成事業	米国(アリゾナ州立大学都市気候 研究センター)に1人派遣 温暖化対策担当 主任 原政之	21頁
(2)海外への研究員の派遣	28件、延べ46人	21～24頁
(3)海外からの研修員・研究員の受入れ	4件、18人	24～25頁
(4)訪問者の受入れ	7件、64人	25～26頁
(5)海外研究機関との研究交流協定等の締結	17機関	26頁

5 試験研究

項目	実績	参照
試験研究事業		
(1)自主研究	21課題	31～33頁
(2)外部資金による研究	23課題	33～37頁
(3)行政令達	49課題	38～41頁

他研究機関との連携		
(1)国内の大学・民間企業等との共同研究・研究協力	24課題	42～44頁
(2)国際共同研究	4課題	44～45頁
(3)大学との共同研究、研究協力の実施に伴う学生の受入実績	3大学から10名	45頁
(4)実習生の受入実績	7大学から11名	45頁
(5)客員研究員の招へい	6機関から7名	46頁
(6)研究審査会の開催	5機関6名に委員委嘱、年2回開催	46頁

学会等における研究発表		
(1)論文	33件	47～49頁
(2)国際学会発表	38件	50～53頁
(3)総説・解説	9件	53～54頁
(4)国内学会発表	101件	54～62頁
(5)その他の研究発表	34件	62～64頁
(6)報告書	5件	64頁
(7)書籍	3件	65頁
(8)センター報(第18号)	3件	65頁
研究成果等発表実績合計((1)～(8))	226件	

講師・客員研究員等		
(1)大学非常勤講師	9件、延べ10人	66頁
(2)他研究機関等への客員研究員	15件、15人	66頁
(3)国、地方自治体の委員会等の委員委嘱	36件、13人	66～67頁
(4)研修会・講演会等の講師	177件	68～75頁

表彰等	3件	76頁